

令和7年度 第1回薬物療法連携部会

日 時：2025年7月4日（金） 15時00分～16時40分

場 所：大阪国際がんセンター 1階大講堂

参 加 者：屋木先生、大阪府健康づくり課2名、大阪府薬務課1名

国指定17施設19名（がんC及び部会長含む）、府指定41施設47名

オブザーバー1施設2名

1. 開会のご挨拶

高木部会長より3年目となる今年度の方針について述べられた。

2. 大阪府からのご挨拶

大阪府健康づくり課久保田総括主査より、大阪府はがん対策推進計画を立て、取り組みを行っているところで、集学的治療の中の薬物療法は重要であると述べられた。

大阪府薬務課高田副主査より、ご挨拶された。

3. 第1回薬物療法に関する多職種交流会の開催について

高木部会長より情報共有として、

- ・がん診療拠点病院の変更について、従来の大阪府がん診療拠点病院に加えて、大阪府がん診療推進病院が設置された。また、新規部会として「リハビリテーション部会」「栄養部会」が設置された。
- ・昨年度の第2回薬物療法連携部会において「一部の限定的な医療機関でのみ実施される薬物療法」についての施設状況の回答を報告された。また、前立腺がんに対してPSMAが今年度、承認見込みであることも述べられた。
- ・今年度の活動の一つとして、「大阪府がん診療拠点病院におけるがん薬物療法に関する多職種交流会」がある。
- ・大阪国際がんセンターの中野副薬局長より、親会での資料を情報共有した。
- ・3部会共催であるが、「がん看護部会」と「多職種交流会」に参加する看護師が異なることが多いことから、「薬物療法連携部会」に参加されている薬剤師が主となってSTEP2を開催してもらう必要がある。
- ・多職種交流会の責任者の大阪国際がんセンターの屋木先生より、各施設で困っていることの事前アンケートをしたうえで、意見交換会の場にしたいと交流会という形にしたことを述べられた。

4. 今年度の薬物療法連携部会の活動について（高木部会長）

アンケート結果報告

- ・がん薬物療法充実体制加算

1年前と比較して届け出ありの施設が増加。

増員が認められたのは6施設。

(大阪日赤：山瀬先生) 1 名増員：30 件/月 (外科・産婦人科・乳腺外科) →90 件/月 (全診療科) で
今月は 120 件/月を目標としている。

・大阪版 TR

HP には、ほぼ半分の施設が掲載しており、掲載している方が使用されやすい。

大阪版 TR の報告で有用であった事例について、大阪市立総合医療センターの症例提示。

→保険薬局に有用であった事例については、フィードバックの依頼をしている。

薬務課より、YouTube で「大阪版 TR 説明動画」がアップされており、視聴回数等の結果報告。

→様式を共有化することにより業務負担軽減につながる等、保険薬局にもその目的が伝わった。

(堺市立総合医療センター：小川先生) これからこういった保険薬局で使われていくのか？

新規の保険薬局で使われることを目指すのか？

(薬務課) 独自の様式がない保険薬局が使用してくれるのではないかな？

(大阪労災：廣瀬先生) 101 枚以上/月、大阪版 T R レポートが使われている。

(済生会中津病院：萱野先生) 各施設どのような取り組みをしているかな？

内服抗がん剤の副作用対策はどうしているかな？

(阪大病院：山本先生) 大阪版 T R と電子 T R を導入している。

電子 T R とは、クラウドを介して保険薬局と WEB でやり取りができる。

・TR (ICI)

現在、大阪府内で、8 種類 (9 施設) が作成しており、各施設の T R を紹介。今回、それらを基に大阪版 TR (ICI) のたたき台を作成した。今後、作成するにあたってコアメンバー募集 (すでに作成している 9 施設は必須+希望施設) 第 2 回薬物療法連携部会で完成したい。

(鉄道病院：小牟田先生) TR (ICI) は、あまり来ていない。作成しても使われるのかな？

保険薬局には、irAE はハードルが高い。

(堺市立総合医療センター：小川先生) ICI が投与終了後は、どの T R を使用するのかな？

(がんセンター：中野副薬局長) TR (ICI) は、4 月以降 1 件も来ていない。

(高木部会長) TR (ICI) 作成当時は来ていた。お薬手帳に ICI 投与歴ラベルも貼付している。

(大阪公立大学：古原先生) 通常 TR の一部に、ICI があればチェックするようになっている。

・内服抗がん剤の取り組み

(市立豊中病院：桑田先生) 注射抗がん剤については、診察前面談である程度で Grade 評価できている。TR (ICI) の返信はない。内服抗がん剤の指導は、医師から依頼があった時のみであるが、継続的に行っている。

5. その他・連絡事項

特になし